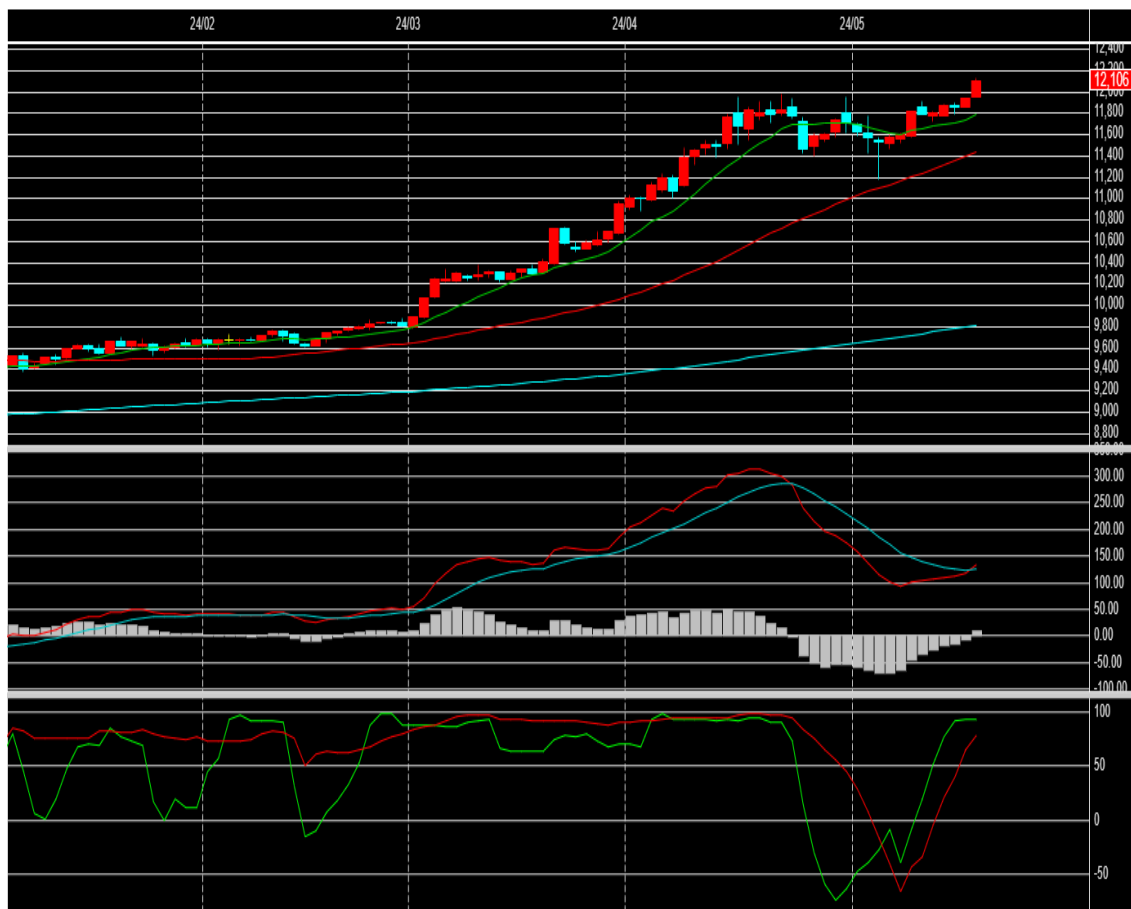


## <金標準、LME の非鉄金属の上昇で高値更新・・・>



(出所：オアシス)

生産者物価指数（PPI）が 0.5%へ上昇し、コア部門でも前年比で 2.4%へ上昇を示しながら、パウエル FRB 議長は講演で「次の動きが利上げになるとは思えない」と発言しながら「われわれは忍耐強くあるべきで、景気抑制的な政策がその効果を発揮するのを待つ必要があることが分かった」と述べたが、消費者信頼感指数（CPI）は前月比で 0.3%へ低下し、コア部門でも前年比で 3.6%と低下し、また小売売上高は±0%へ低下するなど、市場では 9 月の利下げ観測が強まりを見せている。特に為替市場では、日銀の介入もあり一時 152 円台まで円高が進むが、日米間の金利差に注目した円売り・ドル買いが根強く、155 円台で推移している。特に週末は、LME 市場で世界第 3 位のニッケル産出国であるニューカレドニアで暴動を機にニッケルが 7.9%高、銅価格も 2.8%高、シルバーも 11 年ぶりの高値を試すなど 3.7%高を演じており、金標準も押し上げられ一代高値を更新するなど 12135 円まで高値を試しており、流れに逆らう事が難しい値動きに思える。

### <テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD は **MACD** が上昇し、**シグナル**は下げ渋りながら **MACD** が **シグナル**を上回っている。RCI では**短期**が**+93%**で横ばいし、**中期**は**+79%**で上昇しており、強気を示唆する動きに思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,445,000 円(2024 年 5 月 20 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 76,560 円(2024 年 5 月 20 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>